

## 「山科醍醐こどものひろばらしくを目指した 1 年」

### 事業の充実について

コロナ禍が明け、通常に戻りつつあった年からさらに 1 年が終わりました。

昨年度に引き続き、交流活動であるこどもフェスタの実施、継続事業（わんぱくクラブ、げんきスポット 0-3、学習サポートのびのび）の実施をすることができました。また、新規委託事業で山科区子どもの居場所づくり支援事業「ゆうすぺーすやましな」の当日運営を協力することとなりました。

こどもフェスタは会員、関係者向けのイベントから、一般参加者を対象として広く募集してのイベントとして開催することができました。久しぶりに一般参加者を募集するということもあり、準備不足、情報収集不足もありましたが、会員、ボランティア、役職員のご協力のおかげで無事に成功し、150 名ほどのイベントとなりました。新規委託事業では、中高生の居場所づくりの運営を行なうことで、これまでこどものひろばとの関わりが少なかった地域、年齢層への支援が広がりました。コロナ禍から始まった食材支援や、家族などのケアをしている若者が対象のヤングケアラー支援など子どもへの直接支援、取り巻く環境への支援は年々充実してきています。

しかし、年度目標の一つとしていた子どもの体験活動の充実という面では縮小したままであり、現状維持となりました。会員からキャンプなどの体験活動を復活させたいとの声がありましたが、計画するまでにはいたりませんでした。次年度は支援事業の充実だけでなく、子どもの体験活動の充実も達成できるように取り組んでいきたいと思えます。

### 運営体制について

今年度は事務局職員体制が大きく変化し、様々な働き方をする職員が増えました。そのため、情報共有を密にするための体制づくりに努めてきましたが、活動を実施することに精一杯で、情報共有のためのツールの活用や時間の確保が上手くいかず、事務が滞ることや、連絡不足、確認不足ということが多くなってしまいました。

一方で非常勤職員の新規雇用ということもあり、職員研修の実施、実施活動後の振り返り、スーパーバイズの定期実施などこれまで以上に職員育成に力をいれてきました。そのため、年度の終わりには事業実施だけでなく、事業実施に関わる調整や展開について検討することができるようになりました。継続実施をしている事業を実施することに精一杯ではありましたが、次年度以降に発展させていくための、基礎をつくることができました。

### 運営財源について

コロナ禍から続く赤字決算を解消することはできませんでしたが、昨年度より収支の差を少なくすることができました。

収益は、新規の委託事業（ゆうすぺーすやましな）を請け負ったことと、げんきスポット 0-3 の運営に家賃補助が加算されたことにより、委託事業収入が増加しました。また、寄付金の中に昨年度取り組んだ、京都市の実施する「きょうはぐふあんど」というふるさと納税を活用した仕組みからの寄付金が入っており、今年度の子どもの貧困対策事業に活用させていただきました。一方、助成金収入（事業指定寄付）、自主事業収入（講師派遣）が大きく減少することとなりました。寄付募集などの広報を上手く打ち出すことが出来なかったため、事業指定寄付、ふるさと納税などを集めることが出来ませんでした。

経費では、物価高騰による影響が大きく、消耗品費の大きな増加がありました。特に、米の不足と高騰は、日頃の活動と食料配布にも影響がでました。昨年度から続く、光熱費の上昇と合わせて、必要経費の増加があります。

また、非常勤職員が増えたこともあり、新規職員のフォローをしていただくために、スーパーバイズを毎月定期的に行ないました。そのため、例年以上に諸謝金が増加しました。最低賃金の変更による給与の増加と合わせて、事業における人件費の大きな増加となりました。

## まとめ

これまで、縮小傾向にあった活動ですが、コロナ禍が明けてから活動再開や、少しずつではありますが活動規模が大きくなってきました。しかし、この間にノウハウなど失ったものも多く、継続実施をしている事業をするという現状維持に留まり、それ以上に発展させていくには、人、物、金とすべてにおいて足りませんでした。そのため、運営体制の強化、財政基盤の強化が急務となります。職員の基礎作りを進めてきたことで、これまで強く取り組めていなかった、関係機関とのつながり作り、広報など改めて取り組んでいきたいと思えます。

法人全体 <総会ならびに会議報告>

**【第 25 年度通常総会】**

日時・場所 2024 年 5 月 19 日（日） 13：00～15：00 本願寺山科別院 多目的会館

審議事項 第 1 号議案 議事録署名人選出の件

第 2 号議案 第 25 年度事業経過報告承認の件

第 3 号議案 第 25 年度事業活動決算承認の件

第 4 号議案 第 26 年度事業計画承認の件

第 5 号議案 第 26 年度事業活動予算承認の件

**【理事会】**

理事 10 人、監事 2 人で構成。

会 場 山科醍醐こどものひろば内「こども生活支援センター」、オンラインにて開催

開催日 2024 年 4 月 21 日(日)、12 月 22 日(日)

2025 年 3 月 23 日(日)

**【事務局会議】**

法人事務に関して適宜実施し、業務遂行にあたった。

## 第26年度 各事業報告(1)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	—	—	—	—	—	—	—
子どもが自ら 創る体験 活動事業	こどもフェスタ 小規模で子どももおとなも楽しみ、 交流できる祭典を実施した。	12月1日	山科青少年活動 センター	50名	会員、関係者、地 域の子ども、大人 100人	100	108
	わんぱくクラブ 幼児・低学年部の子どもたちを対 象に、野外活動などを実施した。	年4回	みささぎの森他	5人+ボラン ティア	就園児年少から小 学3年生各回18人	90	181
子育てサ ポート事業	げんきスポット0-3(げろさん) 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット0-3」にて実施する。屋根 のある公園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット0- 3	21人 (ボランティア8 人 講師4人)	地域の 子どもと大人 のべ6001人	7108 (委託金6944)	7735 (委託金7557)
	楽習サポートのびのび 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	—	—	—	—
	子どもの貧困対策事業 集団活動が苦手な子どもや、学 習機会の少ない子ども、また経済 的等の理由で体験活動の機会が ない子どもへの個別(生活・学習・ 余暇)支援事業。コロナ禍の影響 を受けた家庭に食材・衛生用品の 配布支援も実施。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業 ※近畿ろうきん「笑顔プラス」寄付 ※京都市「きょうはぐふあんど」寄 付	通年	地域一円	12人	地域の子ども: のべ521人	1230 (助成金1000)	1368 (助成金570)
	ひとり親家庭等への生活・学習・ 居場所サポート事業(子どもの貧 困対策事業) 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託金事業	通年	地域一円	12人	子ども: のべ521人 保護者: のべ12人	9400 (委託金9400)	9680 (委託金9680)
	ボランティア・研修部 ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なった。	通年	当法人事務所	4人	—	—	—
ボランティ アサポート 事業	講師派遣・インターンシップ受入 事業 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4人	—	1,000	315
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	2人	20人	—	—
	研修会 実施なし	通年	当法人事務所	2人	のべ50人	50	—
	—	—	—	—	—	—	—

## 第26年度 各事業報告(2)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
広報・出版 事業	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。	季刊	—	2人	300部を4回	—	—
	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	—	—	100部を10回	—	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 「まちのこどもソーシャルワーク」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	—	—
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—	—
	ホームページ 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—	—
ネットワー クづくり事業	分野連携ボランティアネットワ ーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	—	—	—	—	—
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催:社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	—	—	—	—
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子育て 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。	通年	社会福祉協議会 他	—	—	—	—
	中学生勉強会(おぐりす・だいが ・醍醐支所) 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	23人	おぐりす7人 だいが5人 醍醐支所11人	2713 (委託金2713)	2713 (委託金2713)
	ゆうすペーすやましな 山科区役所の一角を使用しての フリースペース、自習室の運営 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	12月～3月 毎週金曜日	山科区役所	3人	10人	—	500 (委託金500)
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ア呼びかけなど。	通年	—	—	—	—	—